

Issuing Date: 2024-02-20

バージョン 1

1: 化学品及び会社情報

製品名	Intracellular Flow Cytometry Kit (Triton X-100)
製品番号	51995
キット構成要素	13616: Flow Cytometry Antibody Dilution Buffer 12528: 10X Wash Buffer, Phosphate Buffered Saline (PBS) 39487: Cell Permeabilization Buffer (Triton X-100) 47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free

安全データシートの提供者の詳細 製造業者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

販売業社

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途及び使用上の制限 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS - 分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器の感作	区分 1
皮膚の感作	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 中枢神経系、呼吸器
特定標的臓器・全身毒性(反復)	区分 2 中枢神経系、呼吸器
急性水生毒性	区分 3

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H319 - 強い眼刺激
 H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
 H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
 H350 - 発がんのおそれ
 H371 - 臓器の障害のおそれ
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 H402 - 水生生物に有害

注意書き**安全対策**

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。環境への放出を避けること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること。換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

対応 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

キット 構成要素 13616: Flow Cytometry Antibody Dilution Buffer

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 12528: 10X Wash Buffer, Phosphate Buffered Saline (PBS)

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 39487: Cell Permeabilization Buffer (Triton X-100)

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
ホルムアルデヒド	4	2-482	2-(8)-379	50-00-0

4. 応急措置

吸入した場合 事故により蒸気を吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移すこと。医師に相談する。

皮膚に付着した場合 直ちに石鹼と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。医師に相談する。

眼に入った場合 まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。

飲み込んだ場合 多量の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に相談する。

予想される急性症状及び遅発性症状 経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある。眼、呼吸器および皮膚を刺激する。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	保護具を使用する。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に避難させること。
緊急措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	詳細情報については項目12を参照。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	不活性吸収剤で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。
----------	--

保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
------	-------------------------------

8. ばく露防止及び保護措置

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム
-------	----------------------------

ばく露ガイドライン

化学物質名	日本産業衛生学会	ISHL作業環境評価基準 - 管理制御レベル	ACGIH TLV
ホルムアルデヒド 50-00-0	Ceiling: 0.2 ppm Ceiling: 0.24 mg/m ³ OEL 0.1 ppm OEL 0.12 mg/m ³ 1S+		Ceiling: 0.3 ppm

	2A+ C2A ISHL/ACL: 0.1 ppm		
--	---------------------------------	--	--

生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
環境ばく露防止	情報なし
個人用保護具	
手の保護	不浸透性手袋
眼/顔面の保護	サイドシールド付き安全眼鏡
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

キット構成要素 物理的状态 外観 色 pH	13616: Flow Cytometry Antibody Dilution Buffer 液体 透明 無色 7.7 (20 °C)
キット構成要素 物理的状态 外観 色 pH	12528: 10X Wash Buffer, Phosphate Buffered Saline (PBS) 液体 透明 無色 7.7 (20 °C)
キット構成要素 物理的状态 外観 色 pH	39487: Cell Permeabilization Buffer (Triton X-100) 液体 透明 無色 8.0 (20 °C)
キット構成要素 物理的状态 外観 色 pH	47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free 液体 透明 無色 7.4 (20 °C)

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない
避けるべき条件	裸火、高温面および着火源から遠ざけること。長期間にわたって、アジ化ナトリウムは配管システム内の銅、鉛、真鍮、またははんだと反応して、爆発性の高いアジ化鉛およびアジ化銅の化合物の蓄積を形成する可能性があります。
混触危険生成物	金属
危険有害な分解生成物	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50 吸入
ホルムアルデヒド	= 100 mg/kg (Rat)	= 270 mg/kg (Rabbit)	= 0.578 mg/L (Rat) 4 h
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	= 1800 mg/kg (Rat)	-	-

症状

経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある。
眼、呼吸器および皮膚を刺激する。
アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。

製品情報

経口

キット 構成要素
経口

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
飲み込むと有害のおそれ。

吸入

キット 構成要素
吸入

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
吸入すると有害である

皮膚腐蝕性/刺激性

キット 構成要素
皮膚腐蝕性 / 刺激性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷/刺激性

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
刺激を生じるおそれ

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

キット 構成要素
皮膚腐食性及び皮膚刺激性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
皮膚を刺激する

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
眼を刺激する

呼吸器感作性または皮膚感作性

キット 構成要素
呼吸器の感作
皮膚の感作

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
皮膚の感作を起こす可能性があります。

生殖細胞変異原性

キット 構成要素
変異原性影響

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。

発がん性

キット 構成要素
発がん性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
発がんのおそれ。下の表は各機関がいずれかの成分を発がん性としてリストアップしているかを示す。

化学物質名	日本	IARC
ホルムアルデヒド 50-00-0	1B	1

特定標的臓器・全身毒性(単回)

キット 構成要素
STOT - 単回暴露

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
中枢神経系
呼吸器

特定標的臓器・全身毒性(反復)

キット 構成要素
STOT - 反復暴露

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
中枢神経系
呼吸器

吸引性呼吸器有害性

情報なし

12: 環境影響情報

生態毒性

この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

製品情報

キット 構成要素
生態毒性

47746: 4% Formaldehyde, Methanol Free
水生生物に有害

成分情報

化学物質名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	ミジンコおよび他の水生無脊椎動物に対する毒性
ホルムアルデヒド	-	LC50 22.6 - 25.7 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 1510 µg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 23.2 - 29.7 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 0.032 - 0.226 mL/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 100 - 136 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 41 mg/L (Brachydanio rerio) 96 h	EC50 11.3 - 18 mg/L (Daphnia magna) 48 h LC50 2 mg/L (Daphnia magna) 48 h
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	-	LC50 8.9 mg/l (Pimephales promelas) 96 h	EC50 26 mg/l (Daphnia) 48 h

残留性・分解性 情報なし

生物蓄積

化学物質名	オクタノール/水分係数
ホルムアルデヒド	0.35

移動性 情報なし

その他の有害影響

内分泌かく乱物質情報 polyethylene glycol p-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenyletherは内分泌かく乱物質である疑いがある

化学物質名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本 - 内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル	Group III Chemical	-	-

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染された梱包 空容器を再利用しないこと。

14: 輸送上の注意

IMDG/IMO 規制対象外

ADR/RID 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15: 適用法令

化学物質又は混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国際規則

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

化学物質名	金属、CN、F、その他	含有率 %	区分	政令番号
ホルムアルデヒド 50-00-0		4	特定第1種指定化学物質	1-464

労働安全衛生法

化学物質名	区分	政令番号	含有率 %
ホルムアルデヒド 50-00-0	安衛法表示対象物質	別表第9の548	4

毒物および劇物取締法

化学物質名	毒物及び劇物
ホルムアルデヒド 50-00-0	劇物

16: その他の情報

Issuing Date: 2024-02-20

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA:	時間加重平均値	Ceiling:	最大限值:
*	皮膚兆候	+	感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA (環境保護庁)
急性暴露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本GHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(国立労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
RTECS (化学物質毒性データ総覧)
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終